

農林だより 令和5年度11月号



長野県下高井農林高等学校 TEL 0269-82-3115 (代)

ホットな情報は、QRコードから

農林市開催。大盛況に感謝！

10月28日、道の駅ファームス木島平で「農林市」を開催しました。野菜や花、加工品など生徒たちが教員と共に心を込めてつくった逸品を販売しました。他にも、そば打ちの実演、動物ふれあい動物園、ゴールデンエッグへの絵付け体験を実施しました。当日は多くの方が来場くださり、実りの秋を楽しんでいただきました。生徒は6次産業化の実践的な活動の場として、自ら栽培・製造したものをどのようにしたら販売することができ、利益を出せるようになるのか、その難しさや尊さ、接客マナーやチームとして協働することの大切さ等を学ぶ、貴重な体験の場となりました。



収穫祭「食に感謝」

11月10日、「収穫までの労をねぎらい、収穫を喜び、収穫に感謝すること」「生徒が自らの食について考え、食を見直し、食べる意味を考えて食事をする事」を目的に、農業高校ならではの行事「収穫祭」が開催されました。式典ではそば部・農業クラブ表彰、農業クラブ活動報告、ネギジャムの発表、農業鑑定全国大会報告が実施されました。その後は、HACCPの考えを取り入れた衛生管理と体調管理を徹底した農場の精鋭メンバーによる、丹精込めて調理された「豚汁」と「赤飯」が振る舞われました。豚汁の豚も野菜も、生徒自ら育てたものです。自分達が生きていられることへの感謝を胸に、命をいただくという意味を込めて「いただきます」。豚汁も赤飯も美味しくいただくことができました。



よしず張り

11月8日、環境創造コース2年生は飯山市中央橋にて「よしず張り」を行いました。橋を通行する人々を冷たい北風から守るために、歩道の北側によしずを設置するもので、長野県北信建設事務所、長野県建設業協会飯山支部、本校の協働事業です。冬季間、よしずは通行人を寒風から守ってくれることでしょう。

